

## カービュー マーケットウォッチ (2013年3月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：兵頭 裕）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

### 軽乗用車と海外メーカー製輸入車はプラスをキープ

13年 2月順位	13年 1月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	アクア	トヨタ	24,526
2	(2)	→	プリウス	トヨタ	23,473
3	(3)	→	ノート	日産	16,497
4	(4)	→	フィット	ホンダ	12,246
5	(5)	→	セレナ	日産	11,148
6	(8)	↑	クラウン	トヨタ	9,668
7	(6)	↓	ヴィッツ	トヨタ	7,974
8	(7)	↓	フリード	ホンダ	7,282
9	(10)	↑	ステップワゴン	ホンダ	7,155
10	(9)	↓	カローラ	トヨタ	7,002
11	(13)	↑	スペイド	トヨタ	4,860
12	(12)	→	デミオ	マツダ	4,573
13	(14)	↑	ヴェルファイア	トヨタ	4,410
14	(11)	↓	インプレッサ	スバル	4,213
15	(17)	↑	パッソ	トヨタ	4,147
16	(16)	→	ヴォクシー	トヨタ	3,958
17	(-)	↑	アテンザ	マツダ	3,785
18	(19)	↑	スイフト	スズキ	3,431
19	(25)	↑	ノア	トヨタ	3,197
20	(24)	↑	エクストレイル	日産	3,180

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ

※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

■全体では3カ月連続の前年割れで下げ幅も8.1%減に拡大  
ただし軽乗用車と海外メーカー製輸入車はプラスをキープ

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した2月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽自動車を含め、国内で販売された乗用車総数は41万2890台、前年同月比は91.9%（貨物車、バスを含む新車総販売数は47万7380台、前年同月比91.9%）で、3カ月連続で前年を下回った。下げ幅がここ3か月では最大の8.1%減となり、昨年エコカー補助金効果で盛り上がった反動とはいえ、リーマン・ショック前の08年2月と比べても3.8%減と、やや減速感が強まった印象だ。

輸入車と軽乗用車を除く3/5ナンバーの国産乗用車（輸入車扱いの日産マーチ2843台、日産ラティオ762台、三菱ミラージュ1409台は含む）は24万2174台で、前年同月比は85.5%と2カ月連続の2ケタ減となった。メーカーブランド合計では、9カ月連続で前年を上回り、売れ行き好調の斯巴ル、6カ月連続プラスの三菱、3カ月連続増のレクサス、2カ月ぶりにプラスに転じたマツダ以外は前年割れで、ホンダが43.0%減、トヨタも15.1%減と大きく落ち込んだ。ホンダは単月の過去最高記録を更新した軽乗用車を含めても13.7%減で、トヨタ（軽乗用車を含めると、15.0%減）とともに2カ月連続で2ケタ減が続いている。

月間ランキングでは、「トヨタ アクア」が2万4526台で5カ月連続トップ、軽乗用車を含めた乗用車全体でも5カ月連続トップで、2~5位の「トヨタ プリウス（α含む）」、「日産 ノート」、「ホンダ フィット（シャトル含む）」、「日産 セレナ」のベスト5も2カ月連続で変動なし。前月8位にジャンプアップしてきた「トヨタ クラウン」は2ランクアップの6位、「三菱 アウトランダー」が29位と、三菱車としては昨年9~11月の「ミラージュ」以来、久々のベスト30入りを果たした。

軽乗用車は15万1271台で、前年同月比102.6%（貨物車を含めた全体では18万4927台/同99.2%）と17カ月連続のプラス（全体では2カ月ぶりのマイナス）。車名別では「ホンダ N BOX（+含む）」が2万2353台で5カ月連続トップ。「ダイハツ ムーヴ（コンテ含む）」も2万206台で2カ月連続の2位につけた。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでは1万9023台、前年同月比は105.0%（日本メーカー製を含む輸入乗用車全体では2万4459台/同104.1%）で10カ月連続で前年を上回った。海外メーカー製ブランド別乗用車ランキングではVW（フォルクスワーゲン）が5626台、前年同月比8.7%増で2カ月連続トップ。2位メルセデス・ベンツ3155台、3位BMW（ミニを除く）2451台、4位アウディ2188台、5位ミニ1171台の上位5ブランドに変動はないが、BMWとミニが3.5%減、11.6%減と前年を下回るなど、やや勢いに陰りが見え始めたのが気になるところだ。

## ■ココも気になる！ その1

### クリーンディーゼル&PHEVの台頭に要注目！

昨年はハイブリッド車（HV）の「トヨタ プリウス（α含む）」が31万7675台、同じく「トヨタ アクア」が26万6567台と年間販売台数1、2位を占め、この2台を含めHVをラインナップするモデルがベスト10に4台ランクイン。残りの6台はすべて軽だが、リッター30km超の軽として先駆車となった「ダイハツ ミライース」が14万6033台と、年間ランキング8位相当の売れ行きになるなど、エコカーが大人気だ。

そんななか、HV、低燃費・軽に続くエコカー（環境対応車）として注目されているのが、クリーンディーゼルエンジン（CDE）車だ。その先駆けとなったのは「マツダ CX-5」で、昨年3万5438台が販売されたが、そのうち約8割がCDE車だった。CX-5は当初、月間販売目標1000台で、CDE車は5割ほどを見込んでいたが、実際はその5倍近くも売れたわけだ。さらに昨年11月にモデルチェンジした「マツダ アテンザ」も今年1月時点で月間販売目標1000台に対し、累計受注約8500台を達成。そのうち約75%がCDE車だという。このため、今オーダーしてもCX-5のCDE車は5月以降、アテンザのCDE車も4月下旬から5月以降の工場出荷予定と、納車に時間がかかる状況だ。

また輸入車ではメルセデス・ベンツとBMWがCDE車をラインアップしているが、昨年6月にモデルチェンジしたメルセデスの「Mクラス」では約4割がCDE車、BMWでは昨年12月単月のデータだが、「3シリーズセダン／ツーリング」のCDE車比率は約45%、「5シリーズセダン／ツーリング」が約30%、「X3」では約55%、「X5」は約65%と高率になっており、BMWブランド全体の約25%を占めるまでに成長している。

そして今年1月に発売された「三菱 アウトランダーPHEV」も5000台超の受注を集め、2月単月で売れた2487台のうち、2079台がPHEVだった。アウトランダーのようなプラグインハイブリッド車（PHV）やCDE車向け購入補助金も5月8日まで継続されることが決まっただけに、まだまだ伸びそうな勢いだ。

## ■ココも気になる！ その2

### 過去最高の販売台数を狙う VW が3カ月連続プラスと好発進

13年連続で輸入車ブランド別年間販売台数 No.1 を達成した VW の勢いが止まらない。昨年10月に投入した「up!」は、発売から約3カ月で累計受注6200台を突破し、昨年実績で約4300台を記録。車名別で25年連続1位となった「ゴルフ」シリーズも前年比85.2%ながら2万2252台を売り上げ、今年6月ともいわれている新型ゴルフの登場を待つばかりになっている。

今年に入っても、1月は前年同月比24.5%増の4116台と1月単月としては過去最高を記録。2月も同8.7%増の5626台と3カ月連続で前年を上回り、2月単月としても年間販売台数が6万台を突破した01年に次いで歴代2位の実績となっている。特にup!は1月1140台、2月1131台と好調をキープし、2月はTVCMやキャンペーン効果で、「ザ・ビートル」が963台と、売れ行きを伸ばした。さらに「クロストウーラン」や「ティグアン」のFFモデルなど、現行ゴルフの落ち込み分をカバーする売れ行きで、全体を押し上げた。

VW はニューモデル展開ばかりでなく、ディーラー網の整備にも余念がない。今年は正規輸入を開始してから60周年を迎えるだけに、昨年末時点で、昨年新規出店した4店舗を加え248販売拠点と輸入車市場最大のネットワークは築き上げ、さらに最新のコーポレートデザインに基づく店舗リニューアルも実施中。また中古車事業も強化し、販売する中古車はすべて昨年2月から導入している認定中古車「ダス・ヴェルトアウト」として、VW ユーザーの裾野を広げようとしている。

そして今年が目玉として期待される新型ゴルフはすでにデザイナーサイトをオープンし、情報発信を開始。さらに、話題になりつつあるCDE（クリーンディーゼルエンジン）車の投入も検討中で、来年には日本デビューを果たしそうだ。先日のジュネーブショーでお目見えした新型ゴルフヴァリエントやGTIをはじめ、ファンなデザインが魅力的なcross up!など、今後の展開が楽しみなVWに要注目だ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 総務部 広報チーム ( [pr@carview.co.jp](mailto:pr@carview.co.jp) )

tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180

---